



# 安曇野屋敷林サポーター通信

第33号

発行日/ 2021年4月7日

編集・発行/ 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

事務局/ 安曇野市商工観光部観光交流促進課 ☎0263-71-2053

URL/ keikan-azumino.net

## 活動報告 安曇野屋敷林フォーラム2021

2月20日に穂高交流学習センターみらいにおいて、通算11回目となる「安曇野屋敷林フォーラム2021」が開催されました。長野県立歴史館館長の笹本正治氏が「ふるさとの文化的景観～子どもたちに向けて」をテーマに基調講演を行い、美しい安曇野の風景は祖先の努力によるもの、子供たちの感受性に未来があるとお話でした。

また、「安曇野ふるさと遺産2020」の認定式と概要説明があり、「多様な水系とわさび田湧水群」が認定され、三角島ふるさとの森プロジェクトと協定を結びました。「安曇野ふるさと遺産」に認定エリアは3年間で6地域となり、協定団体も本プロジェクトを含む5団体となりました。

第2部のパネルディスカッションでは、信州大学の梅干野氏、ふるさとづくり応援団の宗像章氏、三角島ふるさとの森プロジェクトの場々氏が、それぞれの立場で「安曇野ふるさと遺産～未来につなぐために」をテーマにディスカッションを行い、子どもたちに未来の景観を継承していくことの大切さを再確認しました。

感染対策のため、あいにく今回は無観客での開催となりましたが、あづみ野テレビで10回にもわたり放送されたことは新たな情報発信のヒントになりました。今後サイトにも動画をアップすると共に、国営アルプスあづみの公園にてパネル展も開催していますので、是非ご覧ください。

## 活動報告 安曇野ふるさと遺産

安曇野の暮らし中に脈々と受け継がれてきた歴史文化景観遺産を継承するため、県の元気づくり支援金を活用して2018年度にスタートした「安曇野ふるさと遺産」。認定エリアで景観育成活動を行っている市民団体と協定を締結することで、行政や地域住民等とも連携して保全活用活動を行っています。

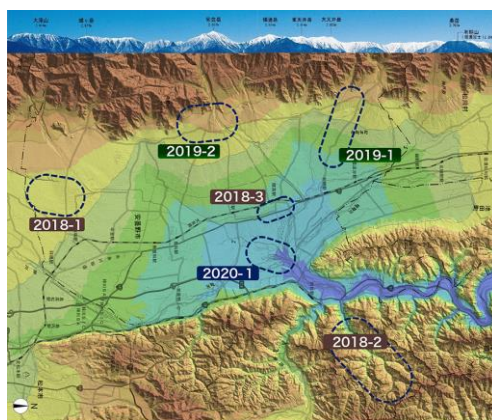
2018年度は「長尾野沢の屋敷林と田園集落」「潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし」「千国街道穂高のまちなみ」、2019年度は「天蚕の恵みと新屋の屋敷林」「烏川扇状地と西山山麓の里山文化」、2020年度は「多様な水系とわさび田湧水群」が認定されました。公式サイトからマップやリーフレットがダウンロードできますので、是非ご利用ください。

<http://azumino-sanpo.info/azumino-heritage/>

安曇野  
遺産

安曇野ふるさと遺産  
Azumino Heritage

ふる  
さと



## 活動案内 安曇野さんぽ2021春 ～ ふるさと遺産を訪ねて

2014年度にスタートした「安曇野さんぽ」。2021年春版は「安曇野ふるさと遺産」の記念事業として、認定4エリアにて開催します。ふるさとは5月16日の穂高三角島、5月22日の穂高保高宿、5月29日の堀金岩原の3コース、さとやまは6月13日の明科潮沢の1コースです。

各コースとも定員は10名、参加費は1名1000円(中学生以下無料)です。尚、さとやまコースは健脚向きで、軽登山の体力が必要となります。

歴史文化薫る春の安曇野を一緒に歩いてみませんか？【別紙参照】

※ 安曇野さんぽ2021春は、定員を減らし感染症対策をして開催します。  
4月29日に開催予定だった「第30回ふるさとウォッチング」は、地元真々部区とも協議の上秋に再延期することになりました。

### ビューポイントあづみの～安曇野屋敷林ギャラリー

「ビューポイントあづみの」に投稿された、季節毎の安曇野の屋敷林を紹介する「安曇野屋敷林ギャラリー」。今回は桜の花が美しい春の屋敷林風景です。

風景投稿サイト「ビューポイントあづみの」 <http://viewpoint.nagapic.jp/>



ビューポイントあづみの

しだれ桜のある風景～安曇野市豊科



ビューポイントあづみの

桜の古木と新屋公民館～安曇野市穂高有明

### 【屋敷林サポーター】

安曇野の屋敷林の保全活用を目的に、2011年度に立ち上げた「屋敷林サポーター」。2018年度の総会で規約を改正し、サポーターの会費は他の活動費と区分し、全額を将来創設予定の基金準備金として積立っています。

2020年度の「屋敷林サポーター」の会員期限は3月末で終了しました。次回の会報発送時に2021年度会費を請求させていただきますので、引き続き会員継続と活動へのご協力をお願いします。